

さいたま市でも大あばれ蛇



日本のまつりに大したもん蛇が特別参加

十月十二日、さいたまスーパーアリーナとさいたま新都心周辺で開催された「咲いたまつり二〇〇八・日本のまつりThe・MATSURISUMMIT」に、わが村の「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」が参加しました。関東圏での出張パレードは、一九八九年（平成元年）のふるさと東京まつり（立川市）、二〇〇三年（平成十五年）の咲いたまつり（さいたま市）以来三回目となりました。

23万人の観客に

関川村の力を存分にアピール

当日は、早朝にバスで出発した約百七十人の関川村民と国際ボランティア学生協会（IVUSA）の皆さん約百十人が担ぎ手としてさいたま市へ出向き、さいたまスーパーアリーナ内やさいたま新都心周辺などでパレード。

まつりには、さいたま市民など関東圏から約二十三万人が繰り出し、村のシンボル「大したもん蛇」の迫力あるパレードに大きな歓声が沸き起こっていました。

そのほか、さいたまスーパーアリーナ前では村の物産販売も行われ、新潟県関川村を存分にアピールしました。



声援に応えながらパレード



イルミネーションパレード

担ぎ手の声

内山純子さん（国際ボランティア学生協会・法政大二年）
楽しかったです。長時間担いだので疲れましたが、とても達成感がありました。

金子 翔さん（関川中学校三年・高瀬）

今回パレードに参加してみても、あらためて関川村への誇りがもてました。この伝統を受け継いでいきたいです。

さいたま市大宮区在住の女性
昨年の咲いたまつりで担いでみて、少し重いですが、今年もぜひ担ぎたいと思っています。楽しくてやみつきになりそうです。



さいたまスーパーアリーナ内を練り歩く大したもん蛇

大蛇の出現に ひとときわ大きな 歓声!!

今年の咲いたまつりは、全国の有名な地域伝統芸能が一同に会して競演する「日本のまつりThe・MATSURIサミット」も同時開催。大したもん蛇まつりをはじめ、秋田竿燈まつりや高知よさこい鳴子おどり、徳島阿波踊りなど全国からよりすぐられた伝統芸能が披露されました。まつりのメイン会場となつたさいたまスーパーアリーナでは、約十分間の大蛇パレード。照明が落とされた会場に「おーい、大蛇が来たぞー」と、忠蔵役の川又政男さんの



平田大六村長のあいさつ

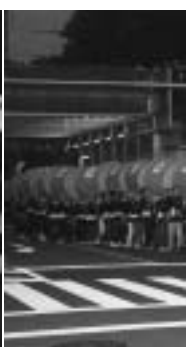
日本のまつりにお招きいただき大変感謝いたしております。

今回は、関川村民と村を応援してくれている国際ボランティア学生協会の皆さんで約300人の担ぎ手が参りました。大したもん蛇まつりは現在21年目。これが、村の伝統となるよう今後も続けていきたいと考えております。

声とともに大蛇が姿を現すと、約一万人で埋め尽くされた観客席からはひとときわ大きな歓声が。会場内を大きく練り歩いた後、とぐるを巻くパフォーマンスを披露しました。

市内パレードでも 迫力あるうねり!!

大蛇パレードは、さいたま新都心周辺のイルミネーションパレードにも参加。沿道に詰め掛けた大勢の観客は「すごい迫力がある」「こんな長い蛇は見たことがない」などと会話しながら、ギネス認定世界一の練り歩く大蛇の迫力に圧倒されていました。



新都心でも迫力あるうねりを披露

見学者の声



さいたま市桜区在住の女性
とても大きくて驚きました。重さも二トンと聞いてびっくりです。私もぜひ担いでみたくなりました。

さいたま市緑区在住の男性
すごい迫力がありますね。特に蛇がうねる時の担ぎ手の皆さんはとも大変そうですね。

さいたま市大宮区在住の男性
初めて見ましたが、本物の蛇らしく動くところがとても素晴らしいです。

東京都在住の女性
わらと竹で手作りしているところが驚きました。関川村で行われる大蛇パレードも見たいですね。